

## 〔事例報告〕

## 大治南小学校区コミュニティの活動事例

山 田 克 己

## 1. 大治町の沿革と現況

大治町は海部郡の東南に位置し、名古屋市  
中村区の西側（庄内川の西側）に隣接する面  
積わずか6.58km<sup>2</sup>の平坦ではほぼ正方形の小さ  
な町である。

昭和30年代前半までは、米作と野菜の純農  
村であった。昭和30年代後半から日本の高度  
経済成長とともに、名古屋市のベッドタウン  
として急激に田畑の宅地化が進み人口が増加  
した（昭和50年4月に町制施行）。

大治町は全域市街化区域に指定されてお  
り、町のほぼ中央を南北に国道302号線（名  
阪）が走り、南部に名古屋市都市高速道路が  
走り、各々のインターチェンジが最寄にあり  
交通の便は極めて良い。

## 2. 大治町の人口及び世帯数の推移

大治町の人口及び世帯数は、日本の高度経  
済成長前の昭和35年は、人口6,454人、世帯  
数1,268世帯であったが、38年後の平成10年  
には、人口26,252人、世帯数8,924世帯と、人  
口は4.1倍、世帯数は7.0倍に急増した。

大治町には外に向かって自慢できるような  
産業、歴史、文化なども少なく、今後も名古  
屋市のベッドタウンとして、農地の宅地化と  
人口の増加、それに一部地域の商業化がさら  
に進んでいくように思われる。大治町の人口  
及び世帯数の推移は次のとおりである。

大治町の人口及び世帯数の推移		
年 度	人 口	世 帯 数
昭和25年	6,392 <sup>人</sup>	1,153 <sup>世帯</sup>
昭和35年	6,454	1,268
昭和45年	13,855	3,587
昭和55年	19,663	5,506
平成2年	22,475	6,711
平成10年	26,252	8,924

## 3. 大治町住民の居住歴

大治町は昭和30年代後半から名古屋市の  
ベッドタウンとして、人口が急増したことは  
前述のとおりであるが、平成元年の大治町の  
住民の居住歴に関する調査結果では、昭和40  
年代からの居住者が全体の24.6%、昭和50  
年代からの居住者が29.7%、昭和60年から平成  
元年に居住者が17.5%となっており、全住民  
の約半数が昭和50年代以降に居住した住民で  
占めている状況である。この調査が行なわれ  
た平成元年以降も人口、世帯数は急増してい  
るため、昭和50年代以降に居住した住民は約  
70%程度になっているものと予測される。大  
治町住民の居住歴は次のとおりである。

大治町住民の居住歴（平成元年調査）	
昭和29年以前から居住	18.6%
昭和30年～昭和39年居住	6.9%
昭和40年～昭和49年居住	24.6%
昭和50年～昭和59年居住	29.7%
昭和60年以降に居住	17.2%

#### 4. 大治町のコミュニティの基本構想と組織

大治町の総合計画の基本構想の中に、「コミュニティの推進」として、「余暇時間の増大、高齢者の増加に伴って、町民が地域に根ざす生活の比重も強くなってきており、コミュニティ活動の重要性は高まっている。この状況の中で本町としては、地域住民に支えられたコミュニティづくりを形成するために、コミュニティ施設の整備、リーダーの育成、コミュニティ活動の支援を図り、心豊かな明るく潤いのあるまちづくりを推進する。」と規定されている。

また、大治町老人保健福祉計画の中にもコミュニティに関する規定があり、同計画の序論で「住民の変化に対応し、新しいコミュニティづくりを推進」として、「戦後の情勢変化の中で、地域の連帯意識が希薄化している。さらに近年、新しく大治に住む人が急速に増加しており、この傾向は今後も加速すると思われる。従ってお互いが助け合うという互助の心を地域全体で育成していく、新しい目的意識をもったコミュニティづくりに努める。」としている。

さらに同計画の施策展開の基本的視点の中で、「高齢者の生きがい、健康づくりの促進」で「高齢者が元気で社会参加していくために、総合的な活動拠点を整備し、ふれあい交流、健康教育、学習、勤労意欲の高揚や仲間づくりを進めるとともに、軽スポーツの普及を図るなど、健康で生きがいをもって明るく暮らせる基盤づくりに努める。」と規定されている。

大治町には小学校が3校、中学校が1校設立されており、コミュニティ組織は小学校区

単位に3つ設立されている。

- ① 大治小学校区地区コミュニティ推進協議会（人口9,903人、3,434世帯）
- ② 大治西小学校区地区コミュニティ推進協議会（人口7,563人、2,508世帯）
- ③ 大治南小学校区地区コミュニティ推進協議会（人口8,786人、2,982世帯）

以上のように大治町は、高度経済成長に伴い、名古屋市のベッドタウン化の進展による、商業化、大規模な人口の移動、新旧住民の混住（特にマンション、アパートなど集合住宅の激増）、仕事に従事する女性の増加、娯楽、レジャーの普及、考え方や意識の多様化、個別化など時代と環境が激化している。人間関係や連帯意識が希薄になっている状況下において、大治町の基本構想に規定されているような、望ましいまちづくり、コミュニティ活動を推進していくことは極めてむづかしい課題であると思われる。こうした状況、環境の中での大治南小学校区コミュニティ活動の現状と課題について記述する。

#### 5. 大治南小学校区コミュニティの現状

- (1) 設立は昭和58年12月（4つの大字で構成、平成10年10月1日現在の世帯数2,982、住民数8,786人）

- (2) 現在のコミュニティ組織

- 本部

- 会 長 1名
- 副会長 2名（会長と異なる大字）
- 理 事 19名（地区の総代）
- 会 計 1名（会長の大字）
- 監 事 2名（会長と異なる大字）

- 運営部会

- 調査広報部会 28名

（部会長1名、副部会長2名、会計1名）

環境衛生部会 26名

（部会長1名、副部会長2名、会計1名）

文化体育部会 29名

（部会長1名、副部会長2名、会計1名）

交通安全部会 27名

（部会長1名、副部会長2名、会計1名）

組織としては以上のとおりである。運営部会のメンバー総数110名のうち、100名については、各大字で総代により選出されているが、そのほとんどはあて役で、たとえば今年組長を務めた人は、来年コミュニティの当番になるとか、あるいは地区で輪番制によって一年間づつ交代でコミュニティの当番をするというようになっている。

110名のうち残りの10名が、自主参加者としてお願いして二年以上留任してもらっている人で、各部会の役員になってもらっている。

このような現状、組織であるため、自発的にメンバーになってもらった人とちがって、コミュニティ活動に対する意識も低いのが一般的である。

しかし、毎年積極的に留任者や自主的参加者を募集しても、思うようにならないのが現実である。そのため現在の当地区コミュニティでは現状の組織で少しでも活動を充実していくようにしていかなざるを得ないのが現状である。

### （3）活動状況

- 機関紙「ふれあいだより」年2回発行
- 1月1日、4月1日、7月1日、10月1日を大治南小コミュニティの花の日と定め、各家庭の門先や玄関先に花一鉢をかざっていただき、美しい地域づくりや住民の美意識高揚をはかる。

○全住民参加のゴミゼロ運動 1～2回

○コミュニティ先進地区視察と交流会

○毎月第1日曜日をコミュニティのウォーキングデーと定め、朝8時に南小学校へ集合し、自分たちの地域を50分ほどみんなで歩く。

○歩け歩け大会 その内容は次のとおり

（イ）幼児から高齢者まで参加者全員でウォーキング

（ロ）大治太鼓保存会による太鼓実演

（ハ）コミュニティ汁の配布

（ニ）花鉢や野菜の安売り

（ホ）グランドゴルフ

（ヘ）サッカーボールけり

（ト）輪投げゲーム

（チ）豪華賞品の当る大抽せん会（この歩け歩け大会には約800名程度の住民の参加がある）

大治南小学校区コミュニティの活動の主なものは以上のとおりであるが、コミュニティのメンバーが毎年交代するため、魅力あるプログラムづくりまで到達できないのが現状である。

なお、南小コミュニティには、拠点もなく、ワープロ、複写機、印刷機もないため、大治町役場の総務部企画課において各種資料のワープロ、印刷、コピー、文書の発送など事務的なことをすべて協力してもらっている。

## 6. 大治南小学校区コミュニティの課題

いままで記した1～5までの中で課題も含めて記述してきた部分も相当数あるが、課題として項目だけあげてみると次のとおりである。

- 当地域のような名古屋市のペットタウ

- ン、大規模な人口の移動、マンション、アパートなど集合住宅の増加、新旧住民の混住などの環境にある地域で、コミュニティ活動に対する理解、参加意識をどうしたら高められるか。
- 活動に自主的に携わる人、仲間づくりがむづかしい。
  - リーダー養成にまでになかなか到達できない。
  - 大治町は生涯学習活動がますます活発に行なわれていることもあり、コミュニティ活動との垣根、色分けがむづかしい。
  - 子供会、婦人会、老人クラブ、その他団体と連携が容易でない。
  - 4つの大字には、しっかりした自治会組織（総代、組長）があり、ゴミの分別収集などの地域問題解決も行なわれており、各大字とコミュニティの連携も重要な課題である。
  - 最後にこうした地域に、はたしてコミュニティ活動は定着するか、定着するとしたらどんな方策があるか。

## 7. 私の考える21世紀のコミュニティ活動（高齢社会、人生80年時代のコミュニティ活動の担い手について）

はじめに平成9年版の厚生白書の「高齢化をめぐる課題」からその一部を抜粋すると次のようである。

- 21世紀は「高齢者の世紀」である。「将来的には相当の勢いで高齢化が進むことが予測される。二一世紀は、まさに「高齢者の世紀」と呼ぶことができる。こうした状況は、人類がかつて経験したことがないものであり、それだけに、高齢社会をどのよう

な社会に作り上げていくかは、我々に課された大きな課題である。」

- 高齢者は「第二の現役世代」である。

「従来、高齢者は、身体面および経済面で“社会的弱者”という印象で見られがちであったが、平均寿命の伸びなどもあり、その姿を変えつつある。社会の第一線としての責任や緊張感から解放された高齢者が、“第二の現役世代”として、より自由な立場を生かして、働き、楽しみ、地域社会に貢献するなど、さまざまな形で社会的に活躍していくこと……そして、それが特別のことではなく、高齢者のごく普通の姿であること……が期待されている。」

- 高齢者の社会参加は、「生きがいづくり」であり、「健康づくり」でもある。「人間の“健康”と“生きがい”は重なり合う部分が大きく、相互に影響し合う。特に、高齢期においては、生きる意欲や意思につながる“生きがい”が若い時以上に大切であり、それが“健康の維持増進”にもつながっていく面が強い。

したがって、高齢者は、経験を生かして就労することはもちろんのこと、地域で仲間とともに社会活動に参画するなど、社会のさまざまな場において積極的に活躍する中で、生きがいのある、健康な生活を送っていくことが期待される。」

と述べられており、私も全く同感するものである。私の考えるこれからのコミュニティ活動の担い手について項目をあげてみると次のとおりである。

- (1)若い世代は職業、生活、子育て中心となるため、興味のある人あるいは特別な人を除いてはコミュニティ活動の担い手になるこ

とはむつかしい。

- (2)人生80年時代を迎え、会社を定年退職、あるいは女性で子育ての終わった後の、人生のラストステージにおける「健康」と「生きがい」、「クオリティライフ」のためのコミュニティ活動は、極めて意義があるものと思われる。それには企業などで、早い時期から「生涯生活設計」や「生きがい」などのライフプラン教育が必要と考える。
- (3)21世紀の高齢社会では、「経済優先」から少し「奉仕」に切り変えていかないと高齢社会は乗り切れないように思われる。
- (4)現在の老人クラブとは、ちがった高齢者の社会参加、ボランティアの受皿、活動の場、仲間づくりが必要と思われる。

## 8. 最後に

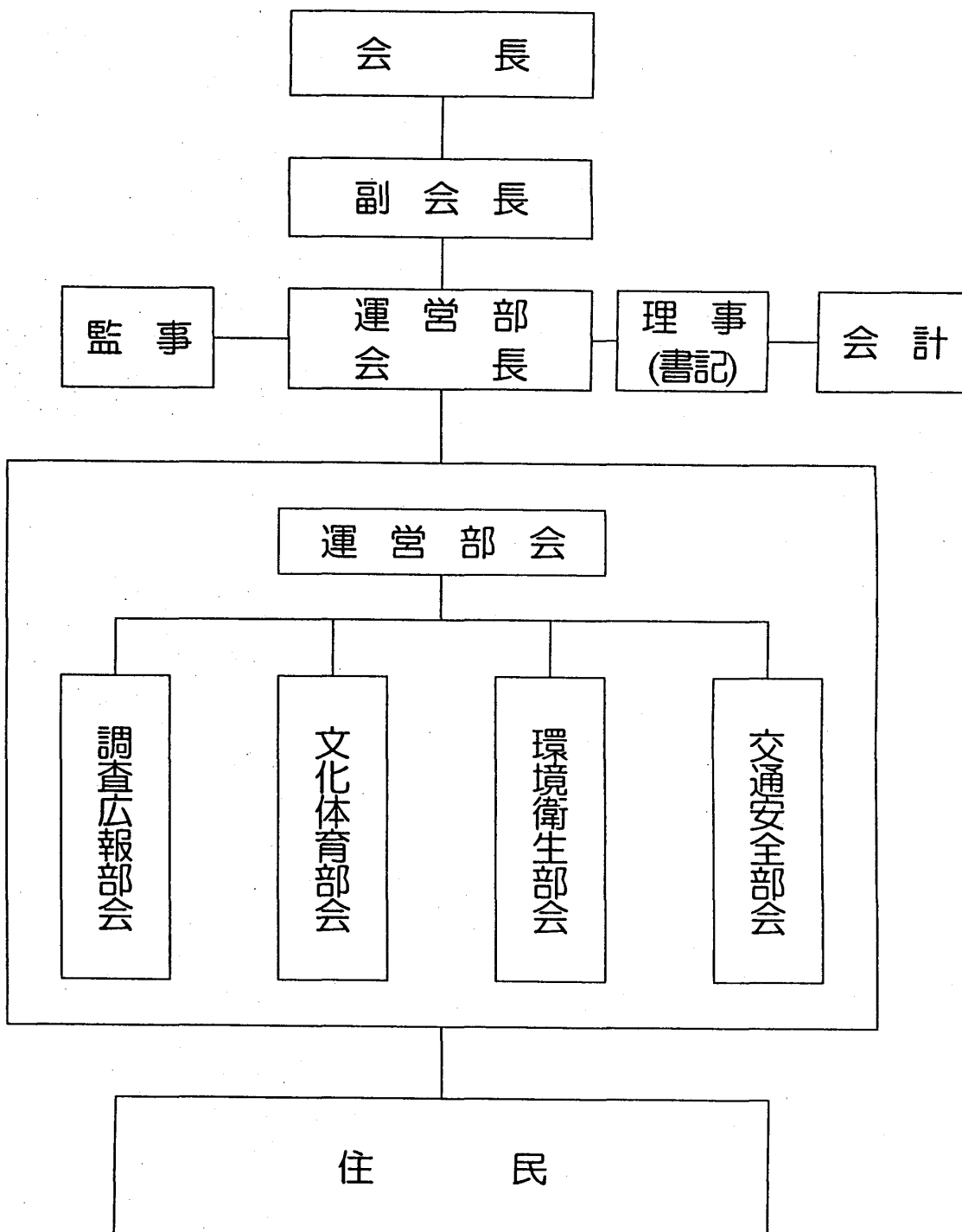
最後に私の考えるこれからの望ましいコミュニティ活動について項目だけあげてみたい。

- (1)高齢社会を迎えて
- 高齢者の地域社会参加
  - 生きがいさがし（活動の機会と場）
  - 高齢者による在宅介護サポート
- (2)環境問題
- ゴミ問題
  - 自然を守る
  - 美しい地域づくり
  - 住みやすい環境づくり
- (3)地域でも健康な生活習慣づくりを推進
- (4)子供の健全育成について
- 小中学校、PTA、子供会との連携
- (5)レクリエーション、趣味、創作活動
- (6)災害時の共助体制
- (7)地域の連帯と活性化

以上、私の大治南小学校区コミュニティ活動の実践を通して、感じていること、考えていること、進めていきたいと思っていることなどを記述した。日暮れて道遠しの感があるが、先進地区や諸先輩の皆様のご指導を得て、一步一步前進するように努力していきたい。

〔参考資料〕

# 大治南小学校区地区コミュニティ推進協議会組織図



## 平成9年度 事業報告

### 1. 本部

総 会 4月13日(日)  
役員 会 10月18日(土)、3月28日(土)  
会計監査 3月7日(土)  
コミュニティの  
説明 会 9月28日(日)、2月15日(日)

(説明会を開催し自主参加者募集)

### 2. 運営部会

#### (1) 調査広報部会

イ.部 会 議 6月7日(土)、6月21日(土)、7月24日(木)、  
11月15日(土)、12月6日(土)  
ロ.広報誌発行 8月及び1月 年2回「ふれあいだより」発行  
ハ.編集 会 議 必要の都度

#### (2) 文化体育部会

イ.部 会 議 5月31日(土)、7月5日(土)、9月30日(土)、11月8日(土)  
ロ.歩け歩け大会 11月9日(日)  
ハ.その他 会 議 必要の都度

#### (3) 環境衛生部会

イ.部 会 議 4月26日(土)、8月23日(土)、11月16日(日)  
ロ.ゴミゼロ運動 5月25日(日)、11月30日(日)  
ハ.視 察 9月21日(日) 常滑市大野コミュニティを視察

#### (4) 交通安全部会

イ.部 会 議 5月31日(土)、7月5日(土)、9月30日(土)、11月8日(土)  
ロ.歩け歩け大会 11月9日(日)  
ハ.その他の 会 議 必要の都度

#### (5) その他

必要の都度 本部長、副部長及び部会役員の打合せ  
2月21日(土) 調査広報部会、環境衛生部会 平成10年度役員選出会  
2月22日(日) 文化体育部会、交通安全部会 平成10年度役員選出会

南小コミュニティの



花一鉢運動にご協力を

今年もあと数日を残すのみとなりましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

南小コミュニティでは地域の美化運動の一環として、毎年1月1日・4月1日・7月1日・10月1日を南小コミュニティの花の日と定め、花一鉢運動を行っております。

各ご家庭の門先や玄関先に花一鉢を飾っていただき、美しい地域作りに皆様のご協力をお願いいたします。

それでは皆様、良いお年をお迎えくださいますように。



大治南小コミュニティ





## 毎月《第一日曜日》は みんなで楽しく歩こう

南小コミュニティでは、毎月第一日曜日をウォーキングデーと定め、みんながわがまちを楽しく歩きたいと思えます。

- ☆ だれでも自由に参加できます。
- ☆ みんなでワイワイガヤガヤ楽しく歩こう。
- ☆ ウォーキングに熱心した方で、サポートしていただける方の参加は大歓迎です。
- ☆ 参加希望者は午前8時に南小グラウンドに集合（時間厳守 雨天中止）
- ☆ 歩く時間は約45分程度から始めます。
- ☆ 万一、事故がおきてもコミュニティでは責任を負いません。



## 南小コミュニティ

## ウォーキングには、 こんな効果があります

- 1、血圧が安定する。
- 2、肥満を予防、改善する。
- 3、糖尿病を予防、改善する。
- 4、動脈硬化を予防する。
- 5、脳卒中や狭心症・心筋梗塞が起こりにくくなる。
- 6、肝臓の働きがよくなる。
- 7、自律神経のバランスを整え、働きを良くする。
- 8、骨粗しょう症を予防・改善する。
- 9、大脳を刺激し、痴呆を予防する。
- 10、ストレスを解消する。

